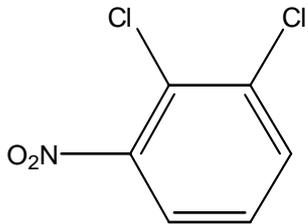


化学物質安全性(ハザード)評価シート(要約版)

整理番号	2000 - 42	官報公示 整理番号	3 - 455(化審法：指定化学物質) 1 - 127(化学物質管理促進法)	CAS 番号	3209 - 22 - 1
名 称	1, 2-ジクロロ-3-ニトロベンゼン 別名： 2, 3-ジクロロニトロベンゼン		構造式		
分子式	C ₆ H ₃ Cl ₂ NO ₂		分子量	192.00	
市場で流通している商品(代表例) ¹⁾ 純 度 : 99%以上 不純物 : 不明 添加剤または安定剤 : 無添加					
物理・化学的性状データ 外 観 : 無色固体 ²⁾ 融 点 : 61 ²⁾ 沸 点 : 257-258 ²⁾ 引 火 点 : 123 ²⁾ 発 火 点 : 文献なし 爆発限界 : 文献なし 比 重 : d ₄ ¹⁴ 1.721 ³⁾ 蒸気密度 : 6.62(空気 = 1) 蒸 気 圧 : 0.22 Pa(1.65 × 10 ⁻³ mmHg)(25 ³⁾) 分配係数 : log Pow ; 3.05(実測値)、3.10(計算値) ⁴⁾ 加水分解性 : 加水分解を受けやすい化学結合なし ³⁾ エラー! ブックマークが定義されていません。) 解離定数 : 文献なし スペクトル : 主要マススペクトルフラグメント m/z 145(基準ピーク, 1.0)、191(0.94)、109(0.82) ⁵⁾ 吸脱着性 : 土壌吸着係数 Koc ; 450-690 ⁴⁾ 粒度分布 : 文献なし 溶解性 : 1, 2-ジクロロ-3-ニトロベンゼン/水 ; 74.1 mg/L エラー! ブックマークが定義されていません。) クロロホルム、メタノール、アセトニトリル、ヘキサンなどの有機溶媒に易溶 ^{エラー!} ブックマークが定義されていません。) 換算係数 : 該当せず					

総合評価

1) 危険有害性の要約

ヒトでの有害性に関する調査報告はない。実験動物では低用量から赤血球数、血色素濃度及びヘマトクリット値の減少がみられ、網状赤血球数の増加や脾臓でのヘモジデリン沈着の増加が認められている。また、肝臓及び腎臓への影響も示されている。復帰突然変異試験及び染色体異常試験では陽性との報告があるが、発がん性については報告されていない。なお、実験動物においては生殖・発生毒性は認められていない。

本物質は環境中に放出された場合、水圏では生分解されにくい、濃縮性は低い。大気中ではOHラジカルの反応が関与しており、半減期は1年以内と計算される。環境省のモニタリングでは検出されることがない。水圏環境生物に対する急性毒性は、甲殻類及び魚類で強い。

2) 指摘事項

- (1) 実験動物において赤血球への影響がみられる。
- (2) *in vitro* の変異原性・遺伝毒性試験では陽性である。
- (3) 化審法の指定化学物質及び化学物質管理促進法の第一種指定化学物質に指定されており、環境モニタリングを継続すると共にリスク管理をより一層徹底する必要がある。

参考資料

- 1) (社)日本化学工業協会調査資料(2000).
- 2) IPCS, International Chemical Safety Cards(1989).
- 3) Hazardous Substances Data Bank(HSDB), U.S. National Library of Medicine(1998).
- 4) Kow Win, Syracuse Research Corporation.
- 5) NIST Library of 54K Compounds.